

細間 翔さん（広島県福山市出身）
2017年度3次隊 青年海外協力隊
派遣国：グアテマラ 職種：野球
2019年2月24日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

野球通して規律伝える

「先生、日本ではどんな野球場で試合するの。どれくらいチームがあるの！？」。目を輝かせた子どもたちの質問が飛び交う。練習前は彼らとの雑談が日課だ。子どもたちは日本に非常に興味があるようだ。

国際協力機構（JICA）青年海外協力隊員として中米グアテマラに派遣されて1年が過ぎた。日本ではコーヒーの産地として有名なこの国は中米北部に位置し、多くのマヤ

文化が残っている。私はスポーツ自治省管轄の野球連盟に配属され、国内西部に位置するケツアルテナンゴ県で県野球協会の指導者たちと共に、野球の普及と、子どもの技術力や指導者のレベル向上を支援している。

しかし国内では野球はまだマイナーで、国技のサッカーに比べると人気は劣る。野球を知らない人がほとんどだ。学校を訪れて「子どもたちにベースボールを教えさせてください」と伝えても「みなさん、今日は日本人の先生とバスケットボールの授業をしますよ」「いや違います。ベースボールです！」というやりとりを何度も経験した。

しかし、訪問した学校では徐々に野球に興味を持つ子どもが増え、女の子も数人が練習に参加してくれた。また活動の中では、私自身が野球を通して学んだ礼儀や規律を最も大切なこととして伝えている。まだまだ少年犯罪の多いこの国で一人でも多くの子どもに野球という素晴らしいスポーツを通して道具や仲間の大切さを学び、人としてさらに成長してもらいたい。



野球を楽しむ子どもたち。徐々に興味を持ってくれるようになってきた